

Topic6 第66回県児童生徒作文コンクール
枕崎から2名が特選を受賞



第66回県児童生徒作文コンクールにおいて、枕崎中学校3年生の近森紘さんと、立神小学校3年生の野田詠心さんの2名の作品が特選に選ばれ、12月20日、教育長からの伝達式が行われました。

近森さんの作品「フライドチキンのその前に」は、家で飼っている鶏を食べる際の経験を通して、深く命について向き合い、命に対する真剣な自分の考えを述べた作品です。野田さんの作品「そして、おばけはいなくなった」は、家で一人で留守番しているとやってくるおばけと、留守番をしないためにお母さんやおばあさんが働く職場で過ごす等身大のやり取りをつづった作品です。

同コンクールでは県内各地区から選出された小・中学生の作品の中から、各学年10名が選ばれ、文集「かごしま」第66集に掲載が予定されています。

Topic7 枕崎へようこそ！今年も市営球場
で清潭高校野球部が冬季合宿



韓国の清潭高校野球部46名が1月12日から2月10日の間、市営球場で昨年に続き2回目となる冬季合宿を行っています。

清潭高校野球部は、韓国でもトップクラスの実力で、韓国プロ野球にも多数の選手を輩出する強豪校です。

1月16日、市営球場で歓迎セレモニーを開催し、本市や市内各団体から、激励に鹿籠豚やかつおパック、勝男武士カレーなどを贈呈しました。

今年も、今回の清潭高校を皮切りに、国内の大学野球部が多数合宿を行う予定です。

Topic3 支え合って生きる共生社会を目指して
障害者についての理解・啓発研修会を開催



12月8日、桜山小学校で精神障害者についての理解・啓発研修会を開催しました。

自ら障害や疾病の経験を持ち、その経験を活かしながら、他の障害や疾病のある障害者の支援を行う「ピアサポーター」の宇都勇さんが講師を務め、障害の有無に関わらず互いに人格と個性を尊重し、支え合う「共生社会」の重要性を、経験を交えながら話しました。また、交流活動として「貼り絵」を作成し、児童たちは細かい作業に苦戦しながらも、互いの個性を認め合う体験を行いました。

Topic4 民泊教育学習で広島県の中学生
が枕崎の文化を体験



12月13日から15日にかけて、民泊教育旅行(修学旅行)の受け入れが実施されました。

広島県の中学生43名が枕崎を訪れ、わら焼きタタキ体験やかつお節削り体験のほか、初の試みとなる太鼓踊り体験などで交流を行いました。枕崎市グリーン・ツーリズム協議会では、民泊教育旅行(修学旅行)の受け入れ家庭を募集しています。興味のある方は事務局(TEL76-1185)までお気軽にお問い合わせください。

Topic5 枕崎市通り会連合会が南薩縦貫道の要望活動を市長に報告

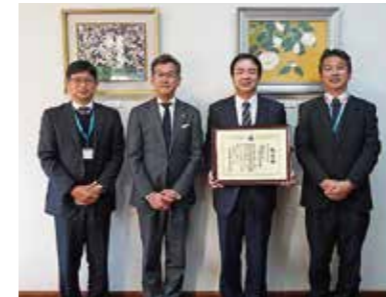


1月13日、枕崎市通り会連合会の酒匂明彦会長が市長を訪問し、昨年12月に行った県への要望活動の報告を行いました。

県への要望は南薩縦貫道路の自動車専用道路化を求めるもので、5,563人分の署名を添えて副知事に手渡されました。

酒匂会長は「このままでは枕崎は取り残されるという思いがあり、行動を起こさずにはいらなかった。要望が実現すれば、観光や輸送コスト軽減、災害時の避難路確保などさまざまなメリットがある」と話しました。

Topic2 野浦知生教諭に
鹿児島県優秀教職員表彰



別府小学校の野浦知生教諭が令和5年度鹿児島県優秀教職員表彰を受けました。12月8日には市役所を訪れ、市長に報告を行いました。

野浦教諭はこれまで、校内での研修やICTを積極的に活用した実践等で中心的な役割を担うとともに、今年度の市教職員ブラッシュアップセミナーでの実践発表や、県総合教育センターの研究協力員を務めるなど、校外での教育実践への積極的な取り組みが認められ、今回表彰を受けました。

野浦知生教諭のますますの活躍を期待しています。

Topic1 民生委員・児童委員の岸田達也さんが
厚生労働大臣表彰を受賞



長年、民生委員児童委員として活動している岸田達也さんに厚生労働大臣表彰が授与されました。

岸田さんは、平成7年に民生委員児童委員になって以来、地域を支える「身近な相談相手」として、介護や子育てなどの困りごとに対し、適切な支援が受けられるよう、行政機関や専門機関につないだり、高齢者世帯の見守り活動を行っています。

岸田さんは「続けるうちに地域や行政とのつながりができ、一緒に課題解決していくことを楽しみながらやってきました。力になってくださる地域や行政、活動を理解してくれる職場のおかげです」と話しました。

こんなこと、悩んでいませんか？

お気軽に、ご相談ください

財産の管理について

もし、認知症になったら財産や預貯金の管理はどうしたらいいんだろう？

高齢者の一人暮らしについて

最近、物忘れが増えているようだけど、心配だな。

障害をもつ子どもについて

福祉サービスの手続きなど、将来、私たちの他にも援助してくれる人が必要だな。

枕崎市地域包括支援センターは令和5年3月に「**成年後見制度の中核機関**」を設置しました。成年後見制度とは、「認知症や、知的・精神障害などによって物事を判断する能力が不十分な方に対して財産管理や身上監護(介護・福祉サービスの利用や医療・福祉施設の入退所手続きなど)について支援し、権利を守る制度」です。利用には、家庭裁判所に申立て(手続き)が必要であり、本人・配偶者・四親等以内の親族のみが申立てできることになっています。

成年後見制度を必要とする方が地域で安心して自分らしく生活していけるよう、地域包括支援センターが中核機関として支援をします。身近な相談場所ですので、成年後見制度の内容や、ご自分やご家族のことで困ったことがある場合には、お気軽にご相談ください。

■問合せ 地域包括ケア推進課地域包括支援センター TEL73-5131

「防災・一般情報提供メール」について

防災行政無線から放送された内容をメールで受信することができます。災害情報だけでなく、一般のお知らせも受信を選択することができます。

受信には、登録が必要です。右の二次元バーコードに空メールを送信すると、登録用のURLが送られてきます。詳しい登録方法については、市ホームページ(「枕崎市 防災・一般情報提供メール」で検索)をご覧ください。

■問合せ 総務課危機管理対策係 TEL76-1086



▲登録用空メール送信先アドレス